

(様式2)

2019年度 教育活動活性化提案事業 実施結果報告書
(最終報告)

令和2年3月31日

福岡女子大学学長 殿

申 請 者 所属名 国際文理学部 環境科学科
職 名 准教授
氏 名 藤野友和

印

事業名 (テーマ)	講義動画配信による授業外学習支援プロジェクト	
事業実施者及び 事業分担者	IR・情報化推進センター	大学院生及び 学外協力者等
活動内容及び成果(必要に応じ資料、写真等を添付すること) ※この欄の記載は、大学ホームページ等にそのまま掲載する予定です。 (活動内容) 本プロジェクトでは、簡単に講義に関連する動画教材を撮影し配信するための方法を提案し、教材を活用した講義の実践例を提示した。とりわけ動画教材を自宅学習の課題として課すことにより、学生の授業外学習時間の増加につなげることを目指して活動を行った。このことによって、授業外学習時間の増加以外にも例えば以下のような効果が期待できる。 ・反転授業の形を取ることで、講義におけるアクティブラーニングの導入が容易になる ・繰り返し動画を見ることで、学生の理解度が向上することが見込める ・講義では時間の都合によって割愛した内容であっても、動画で提供することで、その内容に興味のある学生により深く学んでもらう機会が提供できる ・社会人の大学院学生に対して、仕事の都合で通常のコマに授業に出席できない学生に対応ができる 本プロジェクトでは、多くの講義で採用してもらえるよう、簡単な講義動画の作成方法を提案した。「簡単な」というのは、大掛かりな撮影機材やソフトウェアおよび場所を必要とせず、撮影したいと思ったときに、いつでもどこでも手軽に講義動画を撮影できるということである。 いくつかの作成パターンを検討した結果、最もシンプルな例を以下に示す。 1. オンライン会議システムZoomの録画機能を使って、資料提示しながら講義を行う 2. (必要に応じて)動画編集ソフトCamtasiaで編集処理を行う 3. 動画配信プラットフォームVimeoあるいは、Google Driveに動画ファイルをアップロードする 4. 学習支援システムmoodleより動画へのリンクを作成する 以上の手順をICTセミナーとして学内にチュートリアル形式で紹介する機会を提供した(moodleの説明と動画作成の説明を2回ずつ) (成果) 本プロジェクトにより、上記の活動内容で述べたような手軽な講義動画の撮影方法を確立することができた。学内向けのセミナーには多くの教職員が参加し、教職員による動画作成への足掛かりを提供することができた。当初は、教育面での活用を想定していたが、職員が学生へのオリエンテーション用に動画を作成するといった事務作業の効率化という効果も生じている。実際の講義で動画を配信した際の学生のアンケートにおいても、何度も繰り返しいることができるために課題をする際の参考になり、理解が深まったとの回答を得ている。 【新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う遠隔講義におけるノウハウの活用について】 動画撮影環境と遠隔講義配信環境はほぼ同じであり、本プロジェクトは、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う遠隔講義の円滑な実施につながると考えられる。当初の想定以上に動画配信の機会が多くなると考えられるため、本プロジェクトで得た成果をさらに発展させていく予定である。		

事業費の交付決定額(円)

679000 円

事業費の決算額(円)(領収書等を添付すること)

677441 円

事業費の決算額の内訳(円)

費目	品名、仕様など	金額
消耗品費	HPノートパソコン ProBook650G4	99,900
	動画編集ソフトCamtasia x 6	132,232
	ロジクールウェブカメラ C920n x 2	25,726
	ソフトウェア Vimeo (Pro x1, Plus x3)	44,098
	ソフトウェア WireCast	23,007
	スピーカー 1GMV-H3K1-THQ7	4,180
	HDMIキャプチャー 1GMV-H3K1-THQ7	22,694
	HDMIケーブル3m	998
	マウス	5,141
	Panasonic HDビデオカメラ	48,858
	ノートパソコン ASUS ChromeBook	50,707
通信運搬費		
備品費	Panasonic ノートパソコン CF-SV7HD5VS	199800
その他	Zoom利用料	20100
合 計		677,441

※費目等は適宜追加・削除すること